

平成24年度町田市教育委員会

第1回定例会会議録

- 1、開催日 平成24年（2012年）4月13日
- 2、開催場所 第三、第四会議室
- 3、出席委員
- | | | |
|-----|---|------|
| 委員 | 長 | 岡田英子 |
| 委員 | | 井関孝善 |
| 委員 | | 高橋圭子 |
| 委員 | | 佐藤昇 |
| 教育長 | | 渋谷友克 |
- 4、署名委員
- | | |
|-----|--|
| 委員長 | |
| 委員 | |
- 5、出席事務局職員
- | | |
|---------------|-------|
| 学校教育部長 | 坂本修一 |
| 生涯学習部長 | 守谷信二 |
| 学校教育部次長 | 内山重雄 |
| （兼）教育総務課長 | |
| 教育総務課担当課長 | 小瀬村利男 |
| 学校教育部次長 | 佐藤卓 |
| （兼）施設課長 | |
| 学務課長 | 田中英夫 |
| 保健給食課長 | 高橋良彰 |
| 指導課長 | 小池慎一郎 |
| 指導課教育センター担当課長 | 谷博夫 |
| 指導課担当課長 | 吉川清美 |
| 統括指導主事 | 安齊和樹 |
| 指導主事 | 長田猛 |
| 生涯学習総務課長 | 神田貴史 |
| 生涯学習センター長 | 熊田芳宏 |
| 生涯学習センター課長補佐 | 小林正広 |

| | |
|----------------------------|---------|
| 生涯学習部図書館担当部長 (兼) 図書館長 | 尾留川 朗 |
| 図書館市民文学館担当課長 (町田市民文学館長) | 横須賀 秀 男 |
| 図書館副館長 | 近 藤 裕 一 |
| 図書館担当課長 | 吉 岡 一 憲 |
| 書 記 | 持 田 優 子 |
| 書 記 | 高 橋 由希子 |
| 書 記 | 新 井 裕 美 |
| 書 記 | 増 田 和 博 |
| 速 記 士 | 帯 刀 道 代 |

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

| | | |
|-------|--|---------|
| 議案第1号 | 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |
| 議案第2号 | 学校歯科医の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |
| 議案第3号 | 町田市立学校結核対策委員会委員の委嘱(解職)の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |
| 議案第4号 | 町田市公立学校教職員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |
| 議案第5号 | 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |
| 議案第6号 | 町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について | 原 案 可 決 |
| 議案第7号 | 町田市民文学館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について | 原 案 可 決 |
| 議案第8号 | 教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 承 認 |

7、傍聴者数 0名

8、議事の概要

午前 10 時 12 分開会

○委員長 これより平成 24 年度第 1 回町田市教育委員会定例会を始めたいと思います。

本日の署名委員は佐藤昇委員です。

日程の一部変更をお願いしたいと思います。日程第 2、議案審議事項のうち、議案第 1 号、第 4 号、第 5 号は非公開案件となりますので、日程第 3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第 4 として、関係者のみお残りいただき、審議をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第 1、月間活動報告に入ります。

教育長からお願いいたします。

○教育長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の教育委員会事務局関連の主な活動状況につきましてご報告を申し上げます。

前回の教育委員会は 3 月 23 日、金曜日でございました。翌 24 日、土曜日でございますが、小山中学校、4 月に開校しておりますけれども、落成式がございましたので、委員長以下、それぞれの委員とともに出席をしております。私からは小山中学校が落成に至るまでの経過報告をしております。

それから、ここには書いてございませんけれども、同じ 3 月 24 日から 26 日、27 日にかけて、この 4 月 1 日付をもって町田市に来られる校長先生、あるいは昇格なさった校長先生と面談を行いました。短い時間ですけれども、それぞれの先生のお考え等を伺ったところでございます。

27 日、火曜日でございますが、定例になっております市長への教育委員会の活動報告を行いました。

同じ日に「社会教育委員の会議」からの提言書を受領しております。これは生涯学習センターにかかわるものですが、本日の報告事項の中で担当から後ほど詳しく説明があると思います。

28日、水曜日ですが、3月議会の最終日でございます。表決が行われました。委員長とともに出席をしております。

30日の金曜日でございますが、31日が土曜日のために、この日がいわゆる年度末の退職辞令あるいは転任辞令の交付式ということで、市職員に対するもの、あるいは学校関係、校長、副校長に対するもの、それぞれ式に出席をしております。

同じ日に教育委員会の臨時会が開催されました。職員の異動にかかわることが内容でございます。

また同じ日、やはりここに記載はございませんが、教育委員会表彰ということで、3月の定例会の議案にもございましたが、この3月をもって定年退職となりました室屋、永関両統括校長に対する表彰を行っております。

翌日、31日の土曜日ですが、総合体育館のメインアリーナのリニューアル式典がございましたので、委員長とともに出席をしております。

4月になりまして、2日の月曜日ですが、年度初めということで、先ほど同様、市職員あるいは学校管理職等の辞令交付式が行われましたので、委員長、各委員とともに出席をしております。

同じ日、教育委員会臨時会が開かれました。教育委員会の職務代理の選出にかかわるのでございます。

3日、火曜日でございますが、臨時校長連絡会を、石阪市長の出席を得て行っております。新規の校長あるいは市職員の異動についてのお話等がメインでございます。

同じ日に新規採用教員に係る辞令交付式がございました。連絡会、交付式ともに、委員長、各委員とともに出席をしております。

その日の午後ですが、鶴川第二中学校、鶴川第二小学校の合同演奏会が市民ホールで行われました。この日はあいにく春の嵐が吹き荒れまして、心配いたしましたが、何とか無事終了しております。

4日の水曜日でございますが、町田市を会場といたしまして、東京都市教育委員会の庶務課長会がございましたので、ここにごあいさつに伺いました。

6日、金曜日は、東京町田ロータリークラブの創立50周年の記念式典がございましたので、これに出席をしております。50周年を記念して、町田ロータリークラブが、昨年の大震災で被災した陸前高田の中学校に図書7,000冊を寄贈されたということで、先方、陸前高田市の4月から着任をされた山田教育長が、そのお礼のごあいさつにお見えになりました。

た。お伺いしたところ、陸前高田市では、教育委員会職員 47 名のうち、教育委員長、教育長はじめ、そのうち 40 名の方が亡くなったというような話もお伺いしまして、改めてあの震災の悲惨さについて思いをいたしたところでございます。

11 日、水曜日でございますが、東京都市教育長会が自治会館で開催されましたので、これに出席をしております。

昨日、12 日の木曜日ですが、市の新規採用職員に関する辞令交付式がございましたので、出席をいたしました。

あわせて、同日に、今年第 1 回目の校長役員連絡会が開かれましたので、これに出席をしております。

私からは以上です。

○委員長 1 つお伺いしたいことがあるのですが、3 日の鶴川第二中学校、鶴川第二小学校の演奏会の終わった後あたりが、天候が一番荒れていたと思うのですが、生徒児童の方々は無事に家に着かれたのでしょうか。

○教育長 先日、鶴川第二小学校の後藤校長からお話がありまして、市といたしましても、バスを用意いたしましたので、保護者の方がお迎えになられた方については、それぞれお帰りいただいたわけですが、それ以外の方については、バスでお帰りをいただきました。

ただ、鶴川第二中学校については、卒団式がかなり長引きましたので、バスはその分用意をしていたのですが、結果としては、風雨もおさまったということで、鶴川第二中学校はバスを使用せずお帰りをいただいたということで、特に事故報告等についてはいただいておりません。

○委員長 それでは、両部長から何かございますでしょうか。

○学校教育部長 それでは、2012 年度の第 1 回町田市議会定例会、3 月議会でございますけれども、この中で文教社会常任委員会が 3 月 15 日に開催されましたので、学校教育部所管分についてご報告を申し上げたいと思います。

学校教育部の案件は 2012 年度の一般会計予算と行政報告 1 件でございます。

まず当初予算につきましては、主な質疑といたしまして、学校管理センターの作業班の今後の体制について、給食問題協議会への諮問内容について、学校へのエアコン導入に伴う光熱水費について、トイレ改修工事の規模と機能面について等々の質疑がございました。これは賛成多数で可決すべきものと認められております。

次に、行政報告につきましては、小山田中学校に係る損害賠償請求事件について報告をいたしました。

以上でございます。

○生涯学習部長 同じく生涯学習部所管分の文教社会常任委員会での審議結果についてご報告を申し上げます。

生涯学習部の案件は、条例1件、2012年度一般会計予算、それに行政報告の3件でございます。

条例案件につきましては、第49号議案、町田市立図書館協議会条例の一部を改正する条例でございましたけれども、これにつきまして、1名の議員から、協議会の構成等について質問がありましたが、採決の結果、全員一致で承認すべきものと決しました。

次に、一般会計予算でございますけれども、4名の議員からご質問がございました。まず生涯学習センターの関係では、生涯学習審議会費や公民館事業費の内容について、また特に障がい者青年学級のスタッフの状況についてご質問がございました。また、文化財関係では、新公会計制度との関係で文化財の資産としての扱いや、埋蔵文化財の今後の保存活用計画のあり方、あるいは博物館等の所蔵資料との関係についてご質問がございました。また、図書館については、10月に開館する鶴川駅前図書館に関して、人員体制や開館時間、あるいは現鶴川図書館との役割分担、また特に鶴川で戦後長く活動をされていた浪江虔氏の私立鶴川図書館の顕彰をどう考えているかというようなご質問がございました。これについては館内に顕彰コーナーの設置を検討している旨回答したところでございます。

以上が主な質問でございます。採決の結果、賛成多数で承認すべきものと決しました。

その他、行政報告3件、「生涯学習センターの設置」、「川崎市との図書館相互利用」、「としょかん1年生」事業の3件ですが、「としょかん1年生」事業については、もっとお金をかけられないかといったご意見がございましたけれども、ほかに特にご意見はなく、それぞれ承認されたということでございます。

以上であります。

○委員長 それでは、各委員からの報告をお願いします。

○井関委員 私の報告は1件です。4月6日に佐藤新教育委員と大戸小学校の入学式に参列いたしました。この4月1日から武蔵岡中学校と合同して小中一貫校となりましたので、守屋校長から校名の説明があつて、町田市立小中一貫ゆくのき学園大戸小学校で、学園長で、また校長でもある守屋先生も初めてなので、子どもたちと一緒に、1歩1歩、よい学

校にしていこうと言われました。町田市立学校設置条例では大戸小学校のままですので、小学校、中学校別々に入学式が行われました。初めてですので、これから中学生が出るかわかりませんが、当日、中学生の出席はありませんでした。式が終わって、大戸小学校にある校長室へ戻りますと、途中で、始業式と授業を既に終えた中学生に会いました。

学校長の話では、もう1人の仲間を紹介しようと言って、50センチぐらいのゆくの木の鉢植えを緑台の陰から取り出されました。校名がゆくのきというので、どこか学校の中の敷地にあるかなと思って行ったのですけれども、学校ではなくて大地沢に1本、大きな木が自生しているだけということでした。昨年7月の教育委員会定例会で校名の協議が行われました。そのとき、ゆくの木の写真などは見て知ってはいたのですけれども、近くで見るのは初めてで、マメ科の木ということで、フジやニセアカシヤのような葉っぱを頭に描いたのですけれども、そうではなくて、分類上は違ってはいますが、ケヤキの鋸歯をちょっとなくしたような感じでした。

この1本を苦労して入手されたということで、敷地内に植樹して、あいさつの中で、新入生に、ゆくの木と背比べをして大きくなりましょうということで紹介されていました。6年生代表のお迎えの言葉というのは、学校行事の具体的な紹介などを、メモを見ないで大変立派でした。2年生の歓迎のほうは、縄跳びとか合奏、合唱、踊りを披露して、1年経つとこれだけやれるようになるということを示していました。民生児童委員の方は、1年のときはどうなるかなと思っていた子が、こんなに立派になったと言って感動しておられました。

入学式とは離れるのですけれども、校長先生が、中学校からですので、中学校校長会だけ頭にあったようでも、小学校校長会から出席を求められたというので、忙しくなるな、大変だなと言っておられました。副校長が代理でできるのかどうか、いろいろ工夫が必要になりそうです。校長先生が新入生に1歩1歩やっといこうと言われたそのとおりの1歩だったなと思いました。

以上です。

○佐藤委員 2点ご報告させていただきます。

1点目は、先ほどもありましたが、4月3日、市民ホールで行われました鶴川第二中学校、鶴川第二小学校の児童生徒による合同演奏会についてです。

全国レベルの合唱を聞いて、改めて感動したわけですが、同時に、教育委員会事

務局による的確な対応のすばらしさに私は敬服いたしました。この合同演奏会は午後3時半開場、午後4時開演という計画で実施されたわけですが、この日は爆弾低気圧とも呼ばれている低気圧が日本列島を通過して、台風並みの暴風雨が吹き荒れる、こういう予報でありましたので、終演予定時刻の午後7時ごろは交通機関が麻痺してしまうのではないかとということも予想されていました。

そうした状況を想定して、教育委員会事務局は、鶴川第二小学校の児童や鶴川第二中学校の生徒を無事に送り届けようと、早くからマイクロバスを用意してくださっておりました。終演の時刻が近づいたころには、指導課の皆さんが作業服に着がえ、子どもたちのお世話をするために市民ホールに詰めかけ、実際に子どもたちや引率していた保護者の方に向けて、その案内をしてくれました。おかげさまで鶴川第二小学校の児童は、保護者とともに、そのマイクロバスを利用して、無事に鶴川まで帰ることができました。

鶴川第二中学校の生徒は、先ほど教育長からもありましたように、終演後、しばらく市民ホールで、卒団式なる打ち合わせを、かなり長い時間かけてしておりましたので、その間に天気が一定程度回復して、結果的にはマイクロバスにお世話になる必要はなくなりましたけれども、暴風雨がおさまらなければ送ってもらうことになっていたのでありまして、マイクロバスが待機してしてくれたことがとても心強いことではなかったかなと思います。今回の教育委員会事務局による迅速かつ的確な危機管理、危機対応に敬意を表したいと思います。

2つ目は、4月9日の月曜日に、開校した小山中学校の記念すべき第1回の入学式に参列させていただきました。新入生を迎える3年生は24人（1学級）、2年生は71人（2学級）に対しまして、新入生は191人の5学級、そういう多さでした。校長、副校長、20名の教員に見守られて、当然のことながら真新しい校舎、体育館、さらには厳粛な雰囲気の中で、入学式は整然と進められました。特に生徒の名前を読み上げる学級担任の様子を見ていましたけれども、先生方の態度も大変立派で、とてもいいスタートが切れたように思いました。

ただ、校庭の整備がまだ間に合っていないので、恐らく体育の授業とか部活動には大きな支障を来すと思われそうですし、標準服もまだ用意されていないという状態ですので、開校したばかりの学校には特有の課題が山積しているのではないかなと思われそうです。大川校長や中村副校長のリーダーシップに期待をするとともに、教育委員会からの支援が今後も必要ではないかなと強く感じました。

以上です。

○**委員長** 小山中学校の校庭のスケジュール、それから制服の作製スケジュールについて確認をしてもよろしいでしょうか。

○**学校教育部次長兼施設課長** 皆様ご存じのように、校舎の契約が当初予定よりも3カ月遅れたために、校庭が3月にできませんでした。工期的には、一応6月の末までの契約になっております。できるだけ急いで早く使えるようにしたいと思っております。

以上です。

○**教育総務課担当課長** 標準服の関係ですけれども、校内に標準服の制定委員会を、保護者を含めて設けまして、標準服については制定をしております。9月には生徒が着られるようにということで今準備を進めているところでございます。

○**委員長** ほかに委員の方からご質問等ございますか。

○**高橋委員** その標準服を着る前は、子どもたちはどういう服装で行くのですか。

○**指導課長** 入学式については小学校6年生のときの卒業式に着たもの、それから2年生、3年生につきましては、これからはジャージをもう制定して配布してありますので、とりあえずジャージを使っていきます。

それから制服についてなんですけれども、事前の検討会の中で、制服を開校前に決めてしまうのではなくて、やはり開校で通う子どもたち、保護者の意見を聞いて、それから制定したほうがいだろうということで発足していますので、そこで若干遅れが出てしまっているということになります。

以上です。

○**高橋委員** 1月のことになるのですが、1月28日、「高齢者施設のおじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう会」というものに参加してきました。主催は町田市生涯学習インストラクターの会で、当日は3人の生涯学習インストラクターの方が企画運営なさっていました。会場は特別養護老人ホームコモンズで、訪問のテーマは「思い出の曲を歌う喜びを一緒に」ということで、施設の高齢者60名から70名と、町田第五小学校の子どもたち6名との交流を見てきました。

子どもたち6名は、「元気に歩き隊」として4名、内訳は2年生の女の子2名、3年生の女の子2名、また、ブラスバンド部の子が2名、内訳は4年生の女の子が1名、6年生の女の子が1名で参加してくれました。

まず初めに、ブラスバンド部の子2人が、クラリネットとフルートでミッキーマウスの

テーマを演奏し、次に「元気に歩き隊」の子4人が、「元氣になれそう」と「テルーの唄」、「ふるさと」を演奏しました。高齢者の方々は、子どもの演奏を本当にうれしそうに、楽しそうに目を輝かせ、聞いてくださり、「ふるさと」の演奏のときには歌詞を口ずさんでいらっしゃいました。その後は玉川大学継続学習センター教授の江口正之先生の独唱があり、小学生も含め、会場にいる人たち全員に歌唱指導して下さっての大合唱となりました。子どもたちにとっても高齢者の方々にとっても大変楽しい時間だったと思います。

これまで学校支援ボランティア事業として、学校内に講師として大人を招き、子どもたちが授業や放課後の活動の中でさまざまなことを学んだり、経験したりすることは何度も見てきましたが、子どもたちが外へ出ていき、自分たちが大人に対して、自分たちのできることをして喜ばせるという、いつもは与えられる側にいる子どもたちが与える側に立つ場面を見ることができ、本当にうれしく、誇らしく思いました。今年度は生涯学習センター事業が始まります。生涯学習センターでさまざまなことを学ばれた市民の方々が、ぜひこのように子どもたちと一緒に活動して下さることを心より願っています。そのためにも、学校支援センター事業と生涯学習センター事業の連携が必要不可欠になってくると思っています。生涯学習コーディネーター養成講座で学ばれた生涯学習コーディネーターの方々と、学校支援ボランティアコーディネーターの方々がつながるような場があるとよいと考えます。ぜひ検討をお願いしたいと思います。

活動報告には載っていませんでしたが、3月8日から10日まで、私的な旅行で韓国へ行ってきました。韓国での教育事情を聞いてきましたので、少し紹介いたします。

韓国人の私の友人には、小学3年生と中学2年生の2人の息子がいます。韓国では3月から新学年になるということです。私は3月に行きましたので、小学3年生と中学2年生になりたての息子さんたちでした。

日本では韓国ドラマが女性の間でとても人気があることを話しましたところ、私の友人は、ドラマなど、ほとんど見る時間がなく、友人のお母さん仲間もそうだとっていました。友人も友人のお母さん仲間も、夕食を済ませたら、小学生の子どもの勉強に毎晩遅くまでつき合うそうです。また、中学2年生の子は、部活動などは全くせず、夕方、公立の中学校から帰宅すると、スクールバスに乗って塾へ行くそうです。そして帰りは大体11時近いのだそうです。

中2の子は公文式の勉強もしているのですが、日本では、公文式は公文の塾へ通うのが普通ですが、韓国では、子どもが勉強で忙しいので、時間節約のため、公文の先生が各家

庭を回って教材を配り、採点するのだそうです。韓国では、小学校2、3年生までは、ピアノやテコンドーなどのスポーツなど、習い事をさせるそうですが、小学校3、4年生以降は、特別な子ども以外、ほとんどの子どもが学習塾に通い、小学生の間は、母親と一緒に、山のような宿題を毎晩こなすのだそうです。中学生になると、日本では学校の部活動に入る子どもが大勢いますが、韓国ではそういうことはないし、地域での活動などにも参加することはほとんどなく、勉強一色ということでした。

私はその友人とは、12年前、その友人のご主人が東工大に留学されていたときに知り合いました。日本での2年間の留学後、次はアメリカに2年間留学され、その後、韓国に戻られました。アメリカに留学したとき、日本人の留学生はほとんどいなかったそうですが、韓国人の留学生はたくさんいたと話してくれました。現在、韓国の電機メーカーは世界でも有数の巨大企業となり、研究開発に力を入れ、急速に技術を高めています。その研究開発を支える頭脳は、幼いころからこうしてつくられているのだと感じました。強い国家的戦略を教育の中に見ることができると思いました。

と同時に、勉強ばかりで、部活動や地域での行事や活動、また家庭の団らのひとときなどを十分しないで育つ子どもたちは、全人格的な成長から見て偏らないのかと大変心配になりました。友人に率直にこの点を話したら、友人もやはり社会性などが育っていないのではないかと心配しているということでしたが、我が子だけが勉強させないわけにはいけないのでやめられないし、友人が大学生のころより、現在は就職率が低下しているせいか、学力偏重主義がますますエスカレートしていつているように思うと話していました。小学3年生、中学2年生の子どもたちの塾代だけで、月に日本円で10万円くらいかかるそうで、自分たちの老後の資金についても大変心配していると本音で話してくれました。日本の教育、韓国の教育と比べていろいろと考えさせられた旅行でした。

以上です。

○委員長 大変興味深い韓国のお話をありがとうございました。

ほかに何か質問ございますか。よろしいでしょうか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第2号「学校歯科医の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 それでは、議案各号についてご説明申し上げます。非公開案件を除きまして、

まず議案第2号でございますけれども、学校歯科医の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについてでございます。

本件につきましては、武蔵岡中学校の学校歯科医でございました荒川先生のご逝去に伴いまして、後任の学校歯科医として、町田市学校歯科医会からご推薦をいただきましたので、別紙のとおり咲間先生を委嘱するものでございます。

緊急のため、4月1日に臨時専決処理をいたしましたので、本委員会において承認を求めるものでございます。来年3月31日までの任期でございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。――以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第2号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第3号「町田市立学校結核対策委員会委員の委嘱（解職）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 議案第3号についてご説明申し上げます。町田市立学校結核対策委員会委員の委嘱（解職）の臨時専決処理に関し承認を求めることについてでございます。

本件につきましては、町田市立学校結核対策委員会委員でありました養護教諭の休職に伴いまして、新たに別の養護教諭の委嘱を行うものでございます。

緊急のため、4月1日に臨時専決処理をいたしましたので、本委員会において承認を求めるものでございます。任期につきましては、前委員の残存任期ということになります。その具体的な委嘱（解職）の内容は別紙のとおりでございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。――以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第3号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

休憩いたします。

午前 10 時 43 分休憩

午前 10 時 45 分再開

○委員長 再開いたします。

議案第 6 号「町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 議案第 6 号についてご説明申し上げます。町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則についてでございます。

本件につきましては、小学校の特別教室につきまして利用教室を削るため、並びに夏季期間の平日に関して夜間の利用を行うため、改正をするものでございます。

改正の内容といたしましては、木曽境川小学校及び小山ヶ丘小学校の特別教室の利用教室の一部を削ること、それから小学校の特別教室の夏季期間の平日に、夜間利用に関する規定を加えることの大きく 2 点でございます。

施行期日は公布の日から施行ということになります。具体的な改正内容は別紙資料にあるとおりでございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。

○高橋委員 木曽境川小学校のランチルームと小山ヶ丘小学校のランチルームが削られたのはなぜなのでしょう。

○生涯学習センター長 木曽境川小学校のランチルームについてでございますが、2011 年の 4 月に普通教室として使うために改装を行いました。その後、2012 年 4 月から、再度ランチルームに戻したのですが、まだ学校との使用の打ち合わせと申しますか、調整ができておりませんので、今、実際にランチルームは使えない状況なので、現況に合わせさせていただきますということでございます。小山ヶ丘小学校につきましても、木曽境川小学校と同じような状況でございます。ランチルームとして今使用できないということでございます。

○佐藤委員 今までの経過がわからないままの質問で恐縮ですが、質問は、開放する際の教室等の管理をどうの方がどのようになされているのでしょうか。例えば理科室など薬

品があったり、図工室にもいろいろなものあって、開け閉め、あるいは使用状況のチェック、このあたりがどうなっているのか、通常学校では、副校長がこういうことの世話をすることになると思いますが、5時に午後の部が終わって、今度は5時半から夜間の部が始まる、そうすると、午後の部を使った団体と夜の団体は恐らく変わるのだろうと思いますが、こういうところで、どういう方がどのように施設の管理をされるのか。少なくとも副校長に多くの業務がいかないような手配をしていただきたいと思います。いかがでしょうか。

○生涯学習センター長 夜間については、学校の夏休みの期間だけになりますけれども、その管理につきましては、シルバー人材センターのほうにお願いをしまして、管理をしていただいているということでございます。

○生涯学習部長 補足しますが、今、課長からお話ししたように、実際の貸し出し等の管理については、シルバー人材センターに委託しているわけですが、お話のあった備品等については、各学校で施錠等していただいて、利用者が手を触れられないようにはしております。そういう管理はされております。

もう1つ申し上げるのは、これは別の問題ですけれども、利用状況そのものが、施設の使い勝手が余りよくないこともあって、実態としての利用はそれほど高くなく、年間5%ぐらいの稼働率ということで、これはこれで1つ課題なんです、そんな状況になっております。

以上であります。

○佐藤委員 ぜひ副校長の仕事が増えないようにお願いしたいと思います。

○委員長 以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第6号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第7号「町田市民文学館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 議案第7号についてご説明申し上げます。町田市民文学館運営協議会委員の解嘱及び委嘱についてでございます。

本件町田市民文学館運営協議会委員でございますけれども、これは文学館の運営に関する基本的な事項について協議をしていただくということでございますが、今般、前任の委

員から体調を理由にご辞退のお申し出をいただきましたので、かわる委員の委嘱を行うものでございます。

委員の委嘱任期につきましては、2013年3月31日までとなっております。その解嘱、委嘱の具体的内容は、別紙に添付するとおりでございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。――以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第7号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第8号「教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○教育長 最後に、議案第8号についてご説明申し上げます。教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについてでございます。

本件につきましては、4月12日付人事異動を命ずるため、臨時専決処理をいたしましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

本年4月1日付で町田市に採用となった新規採用職員のうち、別紙にございますような14名が、教育委員会事務局もしくは学校のほうの配属になりましたので、この承認を求めるものというのが具体的な内容でございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。――以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第8号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

以上で審議事項が終わりました。

日程第3、報告事項に入ります。

追加の報告はございますでしょうか。――それでは、教育総務課からお願いいたします。

○**学校教育部次長兼教育総務課長** それでは、報告事項 1 番についてご説明申し上げます。

「(仮称) 町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校の在り方検討委員会設置要綱の廃止について」でございます。

本年、2012 年 4 月 1 日に、(仮称) 町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校が町田市立小中一貫ゆくのき学園として開校したことに伴いまして、この要綱の所期の目的を達成したため、廃止するものでございます。

廃止期日につきましては 2012 年 4 月 12 日ということになります。

以上です。

○**委員長** 教育総務課からの報告に関しまして、何かご質問ございますでしょうか。

それでは、続きまして、学務課からの報告をお願いいたします。

○**学務課長** それでは、報告事項 2 「2012 年度町田市立小・中学校の学級編成について」報告いたします。

2012 年 4 月 7 日付の児童生徒数及び学級数が確定しましたので、ご報告するものです。小学校児童数 2 万 3,347 人で、前年度比 161 人の減となっております。学級数では 735 学級、前年度比 13 学級の増となっております。また、昨年度より小学校 1 年生につきましては 35 人学級となりましたが、本年度につきましても、小学校 2 年生が 35 人の学級編成となりました。表の 2 年生の網かけの部分の 11 校が、35 人学級に伴い、学級規模縮小、いわゆる学級増となった学校でございます。

中学校につきましては、生徒数 1 万 49 人、前年比 345 人の増、学級数では 281 学級で、前年比 9 学級の増となっております。中学校 1 年生につきましては、本年度より 37 人の学級編成となり、網かけの部分の 7 校が、37 人学級による増学級の対象校でございます。ただし、マルの表示のある学校につきましては、増学級はせずに、教員加配で対応するという格好でございます。また、本年度開校いたしました小山中学校につきましては、表の 18 番の学校でございますが、286 人、8 学級でございます。2 年生、3 年生の人数が少ないのは、前年度在籍しておりました学校に、指定校変更でそのまま残られた生徒が多いという結果でございます。

2 枚目の特別支援学級でございますが、小学校児童数 317 人で、前年比 6 人の増、学級数の変更はございません。中学校生徒数 204 人で、前年比 17 人の減、学級数につきましては 3 学級の減となっております。

報告は以上でございます。

○委員長 学務課からの報告について、何かご質問ございますでしょうか。

なければ、指導課、お願いいたします。

○統括指導主事 指導課より、報告事項3、4、5を続けて報告させていただきます。

報告事項3でございます。「2012年度教育課程の受理について」。資料はございませんが、これにつきましては全校適正に受理をしたということを報告させていただきます。

報告事項4について、「2011年度卒業式及び2012年度入学式の実施状況について」でございます。これについては資料がございますけれども、ご覧になっていただきますとおり、全校適正に実施をいたしました。サービスに関する事故等の報告もございません。

報告事項の5「平成23年度児童・生徒の学力向上を図るための調査結果について」でございます。これは黄色い冊子でございますが、調査項目をすべて東京都と町田市で比較したものでございます。非常に大量なデータでございますけれども、これについてご覧になっていただくとわかるのですけれども、東京都と町田市、ほぼ同等の数値をあらわしております。

この調査は昨年7月に町田市全校で実施されております。調査項目は、小学校は5年生、国語、社会、算数、理科、中学校は2年生、国語、社会、数学、理科、外国語ということで調査を行っております。調査の観点、学習指導要領に基づいた教科の観点、それから都独自でやっています読み解く力ということで、この読み解く力は、情報の収集、活用の能力等、そういったものを観点にして調査をしたものでございます。

これについて今後どのように生かすかということでございますけれども、これについては各学校に全校配布をし、これを各学校で、各校のデータ等をもとに分析して、授業改善推進プランを作成し、今後生かしていくといったことを学校のほうに指導していきたいと考えております。

以上です。

○委員長 指導課からの報告に関して、何かございますでしょうか。

では次に、生涯学習総務課からお願いいたします。

○生涯学習総務課長 報告事項6「町田市社会教育委員の会議からの提言について」、ご報告いたします。

町田市の生涯学習センターは、社会教育委員の会議による2010年3月の答申、生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方に基づいて、この4月1日に開設されました。社会教育委員の会議は、答申後、生涯学習センターが、当初の理念や構造を生かして十分

に機能するよう、運営の具体策や事業のアイデアについて引き続き検討し、このたびお手元の町田市生涯学習センターへの提言としてまとめ、3月27日に教育長に提出されたところでございます。

提言内容についてポイントのみご説明いたします。

1 ページ目をご覧ください。まず「I 総論」として、生涯学習センターの役割や、これから生涯学習が目指す方向性が述べられております。これは従来の個人的、趣味的学習といった生涯学習イメージを一新して、学びを通して、豊かで充実した町と暮らしを実現する活動として生涯学習をとらえ直そうという点がポイントでございます。

続きまして、2 ページ目から、こちらについては、具体的なセンターの事業のあり方が述べられております。この「事業論」も、定常的な活動と機動性のある活動の2つの機能に分けて提案されております。

まず「第1の機能」として、2 ページから9 ページまでですが、生涯学習センターの定常的な活動として、特に公民館と市民大学の総合化や情報センター機能など、4つの留意点が述べられております。

9 ページの中段以降になりますが、「第2の機能」として、4つのプロジェクト事業が提案されております。従来の教育分野を超えた生涯学習のネットワークづくりや、学社融合による地域教育力の向上などになります。

本提言に述べられている事項は、いずれも町田市の生涯学習施策の根幹にかかわる重要な指摘事項です。予算を伴うものもあり、すべてがすぐに具体化できるものではありませんが、今後の生涯学習審議会等での基本方針や全体計画の検討に際して、議論の素材として活用させていただく予定です。

報告は以上です。

○委員長 先ほど高橋委員からの月間活動報告の中でも、学社融合にかかわる活動を充実していただきたいという話がありました。これについて何かご質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

○高橋委員 先ほども言いましたように、生涯学習コーディネーターの方々と学校支援ボランティアコーディネーターの方々の交流の場をぜひ持ってほしいと考えます。よろしくをお願いします。

○委員長 それでは、続きまして、生涯学習センターのほうからお願いします。

○生涯学習センター長 報告事項7、8を続けて報告させていただきます。

まず報告事項7「町田市学校開放制度検討委員会設置要綱の改正について」でございます。2012年4月の組織改正に伴い、関連する規定を整備する必要があるため、改正するものです。

改正の内容ですが、委員会の委員を10名から11名に改めます。これは生涯学習センター長を追加するものです。また、委員会の庶務を処理する部署は、生涯学習センターに移管するため、改めます。その他、文言の整備を行いました。施行期日は2012年4月1日から適用いたしました。

続きまして、報告事項8「2012年度ことぶき大学受講生募集プログラムについて」でございます。お手元でございます青い冊子をご覧いただきたいと思います。3月21日号の広報で募集を開始させていただきました。

1ページめくっていただきますと、プログラムを記載しております。今年度は、昨年度よりは1コース減っておりますが、10コースを実施させていただきます。新設コースは8ページになりますが、ねんどアートコースでございます。全7回の開催で、実際につくっていただくというコースでございます。ことぶき大学の対象者は、市内在住の60歳以上の方で、4月20日までに往復はがきで申し込んでいただくようになっております。

報告は以上でございます。

○委員長 それでは、続きまして、図書館のほうからお願いします。

○図書館副館長 報告事項9「『第1回まちだとしょかん子どもまつり一本はともだちー』について」、ご報告いたします。

3月29日から4月1日までの4日間、中央図書館のホールと4階のおはなしの部屋を会場に開催いたしました。このおまつりは、主に子どもを対象に活動している図書館登録団体の方に実行委員会を組織していただき、子どもが本や図書館に親しみを持ってもらうことを目的に行いました。

実施した事業は下の表にあるとおり、おはなし会、ブックトーク、講演会など、多くのプログラムを実施いたしまして、数多くのお子様、保護者の方に参加していただき、その感想も好評のうちに終わることができました。

報告は以上でございます。

○委員長 何かございますか。

○高橋委員 大変よい取り組みだと思っています。私が知るところでは、これは「広報まちだ」に案内が載っていたと思うのですがけれども、直接学校への案内などはしているの

しょうか。また、学校図書ボランティアの方々も、こういうものを見たり、学んだりする機会があると大変いいと思うのですけれども、これから第2回、第3回とあるならば、学校への案内や学校図書ボランティアの方への案内もぜひしていただきたいと思います。

○**図書館副館長** 今回このような形で大盛況で終わりましたので、第2回目以降も続ける方向で検討はしていきます。PRについても広報とホームページ等だけでなく、より知らせる方法を検討し、行っていきたいと思っております。

○**委員長** 最後になりますが、文学館、お願いいたします。

○**図書館市民文学館担当課長** 10番、11番、12番についてご説明をいたします。

10番、タカオカ邦彦写真展「icons－時代の肖像」の報告事項についてご説明申し上げます。

2011年度冬の企画展といたしまして、2012年1月14日より3月25日まで、延べ60日間にわたり実施いたしました。会期中の入場者数は4,491人で、1日平均74.8人でした。関連事業といたしまして、対談、写真講座、アーティスト・トークなどを実施し、合計284人の参加をいただきました。

入館者に行ったアンケートの結果によりますと、年代につきましては、30代から50代の方が52%と、従前の展示より年齢層が若干若めだったとのことです。また男女の比率は、女性が57%と、従前よりも男性の来館者が多かったとの報告がありました。満足度については、「大変満足」と「満足」を合わせて93%と、おおむね9割の方から満足の評価をいただいたという結果になっております。

続いて11番、『サラダ記念日』から25年 愛しき人への三十一文字 俵万智展」の開催についての報告事項についてご説明申し上げます。

2012年度春の企画展といたしまして、2012年4月21日より7月8日まで、『サラダ記念日』から25年 愛しき人への三十一文字 俵万智展」を実施いたします。短歌の世界では空前のベストセラーとなった『サラダ記念日』は、今年で出版25周年を迎えます。作家の俵万智さんは当時、神奈川県立橋本高校の国語教諭を務め、教師生活を送った4年間は、町田市に住んでいました。

今回の俵万智展では、第1章から第4章までの構成で展示します。これまでの短歌の中から、子どもや家族、恋人など、身近な人との日々の出会いから紡ぎ出された短歌を、写真やイラストとともに、視覚的に紹介します。また期間中、関連イベントとして、絵本作家による読み聞かせや講演会、おはなし会、ギャラリートークなどを予定しております。

続きまして12番、「『町田が登場する文芸作品』の発行について」の報告事項についてご説明申し上げます。

このたび町田市民文学館では、「町田が登場する文芸作品」第6版を作成いたしました。小説、エッセイなどの本文中に町田が登場する文芸作品を紹介しています。三浦しをんの第135回直木賞受賞作『まほろ駅前多田便利軒』を初め、代表的な作品の内容紹介と登場する町田市内の地名などを掲載しています。教育委員会委員と各部長には正式版をお配りしており、A3判両面印刷のダイジェスト版については各図書館で配布をしております。町田が登場する文芸作品は町田市図書館でお借りいただけます。ぜひご利用ください。

報告は以上になります。

○井関委員 報告事項10のタカオカ邦彦写真展についてですけれども、この写真展については3月の定例会で、活動報告の中でも1つ紹介したのですが、今回、入場者が1日平均75人だった。それから年齢が、30代から50代が52%と、従来に比べてどうかということで、この前の落谷虹児展の報告を見ますと、落谷虹児展のほうは1日当たり92人で、年齢は60歳から70歳の方が60%と非常に多くて、特に女性も70%と多かったのです。それに比べると、若くて男性が多いとご報告がありました。

落谷虹児展が92人というのは、もう本当に見ていてもたくさん来たとし、わかりますが、タカオカ邦彦展は、最初のころは、文学館での写真ですからどうなるかなという感じはしていたのですけれども、75人と、従来のほかのものに比べても、決してそんなに少なくもないので、よく頑張ったと思うのです。これだけ人が集まった原因というのは、満足度も高いということでしょうけれども、いろいろなことが上に書いてありますが、どんなところが一番大きいと思われませんか。

○図書館市民文学館担当課長 今までにつきましては、文学作品ということで掲示していたのですけれども、今回は写真を中心ということで、ふだん作品を通じて知る機会の多い作家や文筆家の姿をとらえて、人柄や作品に興味を持ってもらうということで展示したのが、皆さん、人物写真の魅力にひかれた面もあったのかと思います。

○井関委員 広報のどこかに工夫したとか、何かそういうのはなかったですか。

○委員長 文学館はこここのところずっと調子がいいという言い方は変ですが、来館者数を一定数以上上げている。やはり学芸員の方が大変工夫をされて、熱意を持って1回1回の展示に取り組んでいただいていることのあらわれかなというふうに理解していますが、いかがでしょうか。

○井関委員 そうでしょうね。見ている、確かに若い方が一生懸命やっているなという感じがします。

○委員長 引き続きよろしくお願ひいたします。

以上でよろしいでしょうか。――では報告事項を終了します。

ここで休憩に入ります。この後、非公開案件ですので、関連の方だけお残りください。

午前 11 時 14 分休憩

午前 11 時 15 分再開

○委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○委員長 以上で町田市教育委員会第 1 回定例会を閉会いたします。

午前 11 時 22 分閉会